

最先端のテクノロジーと心を両輪に



明日を想う  
健祥会グループ

# 健祥会だより 2026

KENSHOKAI DAYORI vol.51



人もロボットもあたたかい  
「こころ」×「digital」

KENSHOKAI GROUP

# 心を尽くし、デジタルを使いこなす

## 「利用者様・園児・学生」のために

### 医療介護・教育保育の現場は歴史的な大変化の真っ只中

などが行われ、順次美しく快適に生まれ変わっています。

今、私たち医療介護・教育保育の現場は、歴史的

な大きな変化の真っ只中にあります。それは、人口

減少・少子化という人口動態の推移と、テクノロジ

ーの劇的な進化がもたらす変化です。

止まるところを知らぬ人口減少・少子化のもと、

全規模全産業で人手不足が一段と深刻になってい

ます。本年6月には介護の重要さに鑑み、介護職

員の処遇改善のための介護報酬臨時改定が行われ

ることに成り、喜ばしく思っています。とはいえ、

これで私たちの現場の「人財不足」が解消されるわけではなく、この状況は

一法人の力では如何ともしがたいものです。しかし、

私たちを必要としてくださる多くの利用者様のために手をこまねいてはいられません。

職員の誰もが働き続けた

い職場であるために、給与のアップはもとより、

業務の効率化による負担軽減とキャリアアップの

サポートによるやりがいづくりにも注力しながら、

私たちは人財確保の新たな道へと一歩を踏み出しました。

より「認定日本語教育機関」としての認定を受け、

2026年4月、留学生のため日本語学科を開設します。ネパール、ミャンマー、インドネシアからの留学生を1学年40名受け入れ予定であり、隣

接地では彼らのための寮の建設がすすんでいます。寮は、玄関ホールが煙突のようなシンボリックな外観。福祉への高い志を

養った人財をここから羽ばたかせ、社会に送り出せるよう、そして質の高い介護をここから広く地域にお届けできるよう、空へと通ずる煙突に願いを込めて、寮の名前を「KENSHOKA-えんとつ」としました。

「えんとつ」を新しいエポックのシンボルとして

高みめざす

グループ内の専門学校健康祥会学園は、文部科学省



人財にまつわる制度が変わりゆく中、自ら育てるといふエポックメイキングな選択、日本人財だけでは守りきれない介護の未来をアジア諸国の若者たちと共に築き上げるために、大きな自己資金を投じての新たな挑戦です。

### 進化する テクノロジーに 埋もれず甘んじず、 使いこなしてこそ

そもうひとつ、テクノロジーの劇的な進化がもたらす変化について。医療介護・教育保育の分野、特に介護の現場では、介護ロボットやAIの導入が急速に進みました。当グループは業界屈指のIT環境を整えており、昨年にはDX促進室を設け、独自のツールを開発するなど業務の効率化に大きな成果を挙げています。

ビジネスの質、人が為すことの真価が問われます。ITは記録業務などを効率化しますが、利用者様の心に寄り添う優しさ、挨拶やマナーは、絶対にテクノロジーで代替できるものではありません。せっかくの環境を職員一人ひとりがしっかりと使いこなせるようITスキルを向上させると同時に、便利さに甘んじて心がなおざりになり、サービスが当たり前にならないよう、常に心を鍛え人間性を磨き、「質の高い介護」とは何かを追求していかねばなりません。

### 福祉の素晴らしさと やりがい をしっかり伝えたい

グループ創設以来46年、地域の要望にお応えしながらひとつまたひとつと開設してきた施設が各地で周年の節目を迎えており、記念行事に向くたび、歴史を想い、先人の

苦労を想い、「心と心」という理念の重さを想い、地域の皆様、利用者様への感謝を新たにしています。この気持ちを次世代へ確かに手渡し、福祉の素晴らしさとやりがいを伝えていきたいと強く思います。

2026年も「利用者様第一」「園児第一」「学生第一」を掲げ、「こころ」×「Dignity」で進化を続けます。健祥会がこの街にあつてよかったと思っていただけ、よう、人と時代が求めるサービスをカタチにするために、役員一同、時代の困難に負けず頑張つてまいります。本年も変わらぬご厚誼を賜りますようよろしくお願いいたします。

### 原点に立ち、 不変の行動指針を掲げて

- 一、私は利用者ニーズに応えます
- 一、私は上司・部下・同僚に応えます
- 一、私は地域社会に応えます
- 一、私は園児・保護者の想いに応えます
- 一、私は上司・部下・同僚に応えます
- 一、私は地域社会に応えます
- 一、私は学生の未来に応えます
- 一、私は上司・部下・同僚に応えます
- 一、私は地域社会に応えます

明日を想う  
健祥会グループ



育英認定こども園新園舎



通園バス

「未来に大きな花咲かそ！」  
育英認定こども園新園舎でスタート

育英認定こども園が、徳島市立昭和保育所・幼稚園の閉園に伴い、昭和幼稚園跡地に新築移転。定員170名で新たなスタートを切りました。良き伝統を大切に、クリエイティブな環境の中、時代のニーズに応える教育保育を展開してまいります。

**園児の安全、街の安全乗せて  
黄色い通園バスが走ります！**

3〜5歳児を対象に、旧園舎跡地と新園舎間の通園バスの運行がスタートしました。旧園舎跡地に設けたバスストップには、冷暖房を完備し、待ち時間用のベンチ、絵本・玩具、AED、保護者のための駐車場も完備。従来から運用している「登降園システム・ルクミー」と、グループ本部DX促進室が開発した「乗降管理システム・タッチパス」の共用で登園とバスの乗車を管理し、安全管理の徹底とスムーズな登園を実現します。

## 健祥会学園に日本語学科開設決定!

### 学生寮「KENSHOKAIえんとつ」建設着々と進む



完成予想パース

は日本語学科で1年学んで日本語力を身につけ、ひきつづき介護福祉学科での2年の学びにより、介護福祉士国家資格取得をめざします。

文部科学大臣の認可を受け、専門学校健祥会学園に2026年4月、留学生のための日本語学科を開設します。主にアジア諸国からの留学生を迎える予定。これに伴い学園の東隣に、学生寮の建設が進んでいます。1階と2階を螺旋階段でつなぐ玄関ホールが寮のシンボル、まるで空へと通ずる煙突のような外観です。多文化コミュニケーションや福祉への想いを育んだ人財がここから大きく羽ばたいてくれるように、そして質の高い介護をここから広く地域にお届けできるように、そんな願いを込めて、寮の名前を「KENSHOKAIえんとつ」としました。全室個室で40室、勉強に専心できる安心の環境を備えます。留学生たちは

## CONTENTS

# 健祥会だより 2026 vol.51



2 心を尽くし、デジタルを使いこなす  
「利用者様・園児・学生」のために  
健祥会グループ 理事長 中村 太一

4 2025 KENSHOKAI TOPICS

6 人こそ財! 人が輝く健祥会へ  
— 2025 採用レポート —

8 働く人の幸せを願って  
働く喜びに充ちた職場でありますように

10 この1年の集大成を競い合う  
「年間取組発表会 決勝大会」熱く開催!

12 つながり合い支え合い、施設はいつも地域とともに  
— 2025 地域活動報告 —

14 KIRARI WOMAN ネットワーク — 2025 活動レポート —



2025.3.24(月)

## 公益財団法人日本ゲートボール連合(JGU) 設立40周年記念特別功労者表彰を受賞



2024年12月、設立40周年を迎えた公益財団法人日本ゲートボール連合(JGU)から、健祥会チームと、健祥会ウイラ施設長藤井都矢子、健祥会グループ本部の井内宏隆に「設立40周年記念特別功労者表彰」が贈られました。健祥会チームは、9回目の国際大会への出場や社会人大会での3連覇をはじめ、全国大会で優秀な成績を収めていること、さらにGBの普及への貢献が評価されたもので、藤井都矢子、井内宏隆は、長年の熱心な活動やGB普及への貢献により受賞しました。

2025.11.1(土)・2(日)

## 文部科学大臣杯 第41回 全日本ゲートボール選手権大会 「四国文化に根ざしたおもてなしの心」に高い評価



公益財団法人日本ゲートボール連合(JGU)主催の「文部科学大臣杯第41回全日本ゲートボール選手権大会」が2025年11月1日(土)・2日(日)の2日間、徳島市のワイクスタッフ陸上競技場で開催されました。徳島県での全国大会開催は16年ぶりとなつて、徳島県ゲートボール協会と関係者が総力をあげて準備・運営にあたりました。健祥会グループ職員もボランティアスタッフとして運営に協力。健祥会ゲートボールチームの2度目の全国制覇はなりませんでしたが、JGUから、「的確で心配りもいざとどき、これ以上の運営はない」とお褒めの言葉をいただきました。



## 阿南市那賀川町の特別養護老人ホーム 健祥会バイエルンに 待ちに待った安心の住まい 職員寮「健祥会ドミトリー那賀川」完成

2025.3.27(木)

### 順次、施設を美しく快適に 多くの施設で改修・更新工事

前年に続き、2025年も多くの施設で改修・更新工事が実施されています。

【令和6・7年度地域介護・福祉空間整備等施設整備事業】  
グループホーム 健祥会いこい / 小規模多機能ホーム 緑風会登子 / ケアハウス モントゼー / 養護老人ホーム しののめ / 特別養護老人ホーム 健祥会ライデン / グループホーム あめごの里 / 特別養護老人ホーム 笑顔 / 介護老人福祉施設 ふるさと那賀

【外壁塗装工事】(補助金なし・全額自己資金)

本部、健祥会プレゼンテーション / ケアハウス 健祥会ひまわり / ケアハウス 健祥会アムス、小規模多機能ホーム 健祥会テルダム / 特別養護老人ホーム 健祥会ピーター、ケアハウス 鳩の家 / 養護老人ホーム 健祥会エジナバラ / 特別養護老人ホーム 緑風会チロル、ケアハウス モントゼー

### 周年を迎えた5施設で 感謝の記念行事

40th 特別養護老人ホーム 緑風荘  
牟岐町 8/5

30th ケアハウス 健祥会ひまわり  
徳島市 4/24  
老人保健施設 健祥会ハート  
上板町 9/18

20th 特別養護老人ホーム 榎田の里  
デイセンター とんがり帽子  
大阪府高槻市 4/22  
グループホーム 義満  
デイセンター 一休さん  
阿波市 9/17



特別養護老人ホーム 緑風荘



老人保健施設 健祥会ハート



特別養護老人ホーム 榎田の里



## 変わりゆく時代を とともに歩む仲間を迎えて

～ 2025年度 入職式 ～ 2025.4.1(火)

2025年度、健祥会グループに25名の新入職員を迎え、本部の健祥会トウモロホールで入職式が挙行されました。常務理事中村晃子の開式の辞に続いて、国歌と健祥会のうたを斉唱。本部役員が見守る中、一人ひとりが呼名され、理事長中村太一は、25名を迎える喜びと感謝の言葉を述べたあと、以下のように語りかけました。

### 節目と出会いを大切に きつかけを 自ら育みながら

健祥会グループ  
理事長 中村太一 訓辞

健祥会グループは、45年前の創設以来、四国初のデイサービス事業をはじめ、時代に先駆けるサービスを生み出してきました。現在は

全国に約2万ある社会福祉法人の中でもごく限られた数の「特定社会福祉法人」のひとつとして、社会への大きな責任を果たしつつ、ICT化とDXの推進で新しい時代の先駆者となるべく、積極的に取り組んでいます。

新入職員の皆さんには、デジタルネイティブとしてのスキルで、効率的で質の高いサービス提供を担って



ださるよう期待します。しかし、原点は「心」です。「心」のサービスを忘れず、「心と心」で人とテクノロジーが協働する時代を切り拓いてください。「共創と競争」「進化と深化」を実践し、「節目」「出会い」「きつかけ」を大切に、初心を忘れず、健祥会グループの新しい風となり、次なるステージへ導いてくれることを期待しています。

理事長の言葉を受け、「どんなに時代が変わろうと、私たちの仕事は人にしかできない尊い仕事であり、そのことを本心に誇らしく思います。健祥会の心と今の気持ち、私たちの原点とし、利用者様の生活の質の向上のために力を尽くし、園児一人ひとりの未来への礎を豊かに育んでまいります」と、新入職員代表が決意の言葉を述べ、若い25名とともに2025年度がスタートしました。



## 1ヶ月ぶりに同期が集う 新入職員懇親研修会

～ 香川・うどん県へ ～ 2025.5.12(月)



配属先での仕事にも慣れてきたゴールデンウィーク明け、25名が参加して、お隣の香川県へ新入職員懇親研修会に出かけました。まずはうどん県でうどん打ちに挑戦。自分で打ったうどんを味わって、次は、瀬戸内海の航行の目印、海の安全を守る神として信仰を集め、こんびらさんの呼び名で親しまれてきた金刀比羅宮へ。本宮まで785段、奥社までさらに583段の階段を登り、穏やかな瀬戸内海の景色を望みながら参拝しました。最後にドイツの健康保養の町バーデンバーデンを思い描いて造られた、高松市の老人保健施設健祥会バーデンへ。健祥会の歴史の一端に触れるとともに、その運営も見学し、さまざまな気づきを得て、帰途に着きました。バスの中ではおしゃべりにも花が咲き、楽しみもあり、学びもあり、充実の1日になりました。

## インドネシアから フィリピンから、健祥会へ 総勢74名の たのもし仲間たち

2025年の1年間、健祥会グループに迎えたEPA人財は46名。各地の施設に配属になり、張り切って就労しています。利用者様に喜んでいただける人財へと育つよう、慣れない異国の地で働きながら学ぶ彼女らをグループをあげてしっかりサポートしてまいります。また、在留資格「介護」や「特定技能」など、EPA以外の外国人材も28名（パート含む）が各地の施設で立派な戦力になってきています。地域の皆さま、頑張る仲間たちをどうぞよろしくお願いいたします。



### 2025

12月5日(金)

フィリピンEPA介護福祉士候補者 16名

12月17日(水)

インドネシアEPA介護福祉士候補者 30名

【EPA以外の人財の通年採用】

- インドネシア人 18名
- フィリピン人 5名
- ベトナム人 5名

## 介護の日に刻む、福祉人としての第一歩

～ 2026年度 職員採用内定式 ～ 2025.11.11(火)



11月11日「いい日、いい日、毎日、あったか介護ありがとう」の介護の日は、毎年、健祥会グループの内定式の日です。介護福祉士、ケアワーカー、事務・経理、保育教諭、合わせて13名（うち1名は東京からのリモート出席）の新しい仲間を迎えました。

健祥会グループ  
常務理事 中村 晃子 挨拶



皆さんが選んだ福祉の仕事、介護も教育保育も社会にとってなくてはならない仕事です。人を支え、社会を支えるというとても重要な仕事を選んだということを誇りに思ってください。グループは数年前から「ころ」×「On:ing」をキーワードに、全施設でICTやロボットとの協働を進め、本部に

DX促進室を設置し、組織全体のデジタル化を加速させています。デジタルをツールとして上手に利用しつつ、グループの原点であり、AIが取って代わることのできない「心」を大切に、利用者様や子どもたちに向き合ってください。現在の福祉は決して完成形ではありません。心とデジタルの融合で、利用者様にとっても、そして私たちにとても、優しく安心の未来を一緒に作ってまいります。入職までの間、広い視野を養い、多くの経験を積み、人間力を磨いてください。4月にはさらに魅力的になった皆さんに会えることを楽しみにしています。



# 働く人の幸せを願って 働く喜びに充ちた職場でありますように

福祉は「人」あつてのものです。働く人の幸せが質の高いサービスをつくります。  
職員のため、ひいては利用者様のために、さらによりよい職場環境づくりに努めてまいります。

## 進化する健康経営 今年も4法人が 「健康経営優良法人2025」に!

従業員の健康管理に精力的に取り組んでいる優良な法人を「見える化」する経済産業省の「健康経営優良法人認定制度」において2025年も、健祥会グループ4法人（社会福祉法人健祥会・社会福祉法人緑風会・社会福祉法人育英福祉会・社会福祉法人青嵐会）が揃って認定を受けました。

認定基準の28の評価項目のクリアはもとより、60歳以上の職員の転倒等リスク評価チェックを大規模に実施し、各人に自身の身体能力の把握と転倒リスクへの認識を促すとともに、運動習慣を奨励していることも大きく評価



されました。次回以降は調査年齢を引き下げるとともに、今回の結果との比較検証もを行い、職員の転倒予防、体力の維持向上への啓蒙、自宅で手軽に取り組める運動プログラムの提供に取り組んでまいります。



2025.3.10(月)

## 公益財団法人 全国介護労働安定センター 理事長賞受賞 ～老人保健施設 健祥会ウエル～

介護現場で働く人の福祉の増進と魅力ある職場づくりをめざす公益財団法人全国介護労働安定センターは、雇用管理改善や地域活動などによる地域への貢献で他の事業所の模範となる事業所に対して表彰を行っています。2024年度も全国で最優秀賞1、優秀賞6、奨励賞39の事業所が選ばれ、徳島県では老人保健施設健祥会ウエルが優秀賞を受賞しました。

仕事と家庭の両立支援やキャリアアップ制度の導入、介護ロボット・ICTの効果的な活用などにより、離職防止や定着促進に奏功していることが評価されたものです。同センターより、藤澤勝博理事長が健祥会本部にお越しくださり、理事長中村太一と健祥会ウエル施設長藤丸和幸へ表彰状を授与くださいました。藤澤理事長は厚生労働省ご出身。グループ創始者中村博彦が参議院議員を務めていた時期に非常にお世話になり、EPA人材受け入れの制度づくりにもご尽力くださった方です。嬉しいご縁のつながりです。



健祥会本部にて、公益財団法人全国介護労働安定センター 藤澤勝博理事長より優秀賞の授与



2025.1.16(木)

## 特別養護老人ホーム 緑風会チロル・ケアハウス モントゼー 徳島労働局長表彰奨励賞受賞

「多様な仲間と築く安全未来の職場」をスローガンに、令和7年度徳島産業安全衛生大会が開催されました。「人命尊重」という基本理念の下、昭和3年から途切れることなく実践されている「全国安全週間」の取り組みのひとつです。徳島労働局及び徳島県労働災害防止関係団体協議会が主催するこの大会において、特別養護老人ホーム緑風会チロル・ケアハウスモントゼーが労働安全衛生対策に優れた取り組みを行った事業者として「徳島労働局長表彰（奨励賞／安全確保対策部門）」を受賞しました。

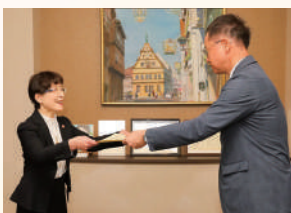
健祥会グループでは組織を挙げて安心安全な職場づくりを努めており、この度の表彰はグループ全体にいただいたもののように嬉しく感じます。誰にとっても安全で働きやすい職場であるように、今後も怠らず全施設で安全確保対策にしっかりと取り組んでまいります。



2025.7.3(木)

あわぎんホール4階大会議室にて

## 健祥会グループ本部長 関久代に 国民健康保険中央会より感謝状



徳島県国民健康保険団体連合会の介護給付費等審査委員会で10年にわたって委員を務めた健祥会グループ本部長 関久代に、中央会 大西秀人会長より永年感謝状が贈られました。徳島県国民健康保険団体連合会の常務理事宮



「10年間、たくさん勉強させていただいた上に感謝状をいただき、大変光栄です。ありがとうございます」と関久代。

2025.11.10(月)

## グループ2事業所が 「四国道路ふれあい協議会 会長表彰」受賞

国土交通省の定める「道路ふれあい月間」に合わせ、四国道路ふれあい協議会が、四国の道路の愛護活動や美化活動に貢献した団体や個人を表彰しており、今年、老人保健施設 健祥会ハートとテイセーター 緑風会尊氏が「四国道路ふれあい協議会 会長表彰」をいただきました。いずれも徳島県OURロードアドプト事業における長年の活動を評価いただいたもので、健祥会グループでは2022年の社会福祉法人健



健祥会ハート

緑風会尊氏

2025.9.24(水)・25(木)



令和6年度の統一テーマは、利用者様の生活と職員の日常業務にかかせないもの「ハンコ」×「Digital」です。5つの予選を勝ち抜いた7施設が、健祥会トウモロコーホールで開催された決勝大会に臨みました。舞台スクリーンのほか、会場に4つ設置されたモニターでわかりやすく結果が示され、プレゼンテーションの部では、介護老人保健施設センターヴィレッジが、ポスター発表の部で、老人保健施設 健祥会ウエルがそれぞれ最優秀賞に輝きました。

### 介護老人保健施設 センターヴィレッジ

### 温故知新

### 「ハンコ」×「Digital」の共奏

おむつゼロと褥瘡ゼロ、看取りケアについて、「ハンコ」と「Digital」の共奏により新たな視点から未来介護の創造をめざしました。離床CATCHと眠りSCANを選定して心拍数に着目し、設定をきめ細かに見直し覚醒状態を把握することで排せつ状況が大きく改善した事例。体圧測定器や体位交換表で現状を可視化し、褥瘡や痛みのない状態となり体調も回復した事例。そしてよりよい看取りケアにつながった事例など、ICTとの共奏の向こうに広がる可能性を示しました。

# この1年の集大成を競い合う 「年間取組発表会」決勝大会 熱く開催!



### 審査員長 健祥会グループ 理事長 中村太一 総評

素晴らしい取り組みの数々に、とても手応えを感じることができました。得られた成果をどう応用・活用するかは皆さん次第ですが、それぞれがさらなる実践につなげていってほしいです。せっかくのデジタル

令和7年度テーマは、グループの行動指針「私は利用者ニーズに応えます」「私は上司・部下・同僚に応えます」です。

推進してきたDXの流れの中で、行動指針をしっかりと捉えなおし、よいサービスづくり、職環境づくり、地域貢献について新たな実践に挑戦してください。



2025.7.11(金)

健祥会グループ本部・健祥会トゥモローホール

コンプライアンス担当者会で、生命の危険に関わる誤嚥・窒息事故に特化した研修会を実施。嚥下の仕組み、観察のポイントと座位の取り方、疾患や薬の観点からの留意点など、事故の予防策について学ぶとともに、救急救命のプロフェッショナル・徳島市消防局警防課主任松本慎二氏より「異物除去及び救急法」と題して、すぐにすべきこととその方法をわかりやすくご講義いただき、実習で緊急時の対応法と手順を確認しました。正しい知識を持つことと合わせて、もしものときの実践力を身につけ、リスクマネジメント体制の強化に努めてまいります。

## 「安全な食事の提供」のために リスクマネジメント研修会



2025.3.5(水)

LIVE 健祥会トゥモローホールから全施設にライブ配信

2025.7.7(月)

ドイツ・ニーダーザクセン州の看護訪問団一行9名を、健祥会プレゼンテーション内のとくしま介護現場DXサポートセンターにお迎えしました。介護現場におけるICTや介護ロボットの活用、外国人職員との協働、人財育成体制などを紹介し、介護ロボットや認知症VRの体験もしていただきました。さらに特別養護老人ホーム笑顔・グループホーム元気で、現場でのICTや介護ロボットの活用状況も紹介。ドイツでも医療介護は日本と同じ課題に直面しており、健康やワークライフバランスへの配慮、外国人財の受け入れや介護ロボットの活用などに関心と共感を示していただきました。

## ドイツからの看護訪問団 とくしま介護現場DX サポートセンターへ



### プレゼンテーションの部

#### 👑 最優秀賞

・介護老人保健施設 センターヴィレッジ

#### 👑 第2位

・特別養護老人ホーム 緑風会チロル

#### 👑 第3位

・特別養護老人ホーム 健祥会家康 / ケアハウス 健祥会うだつ  
・介護老人福祉施設 ふるさと那賀

ポスター発表の部 最優秀賞  
老人保健施設 健祥会ウェル

### ポスター発表の部

#### 👑 最優秀賞

・老人保健施設 健祥会ウェル

#### 👑 第2位

・特別養護老人ホーム 健祥会バイエルン

#### 👑 第3位

・老人保健施設 健祥会シェンブルン

### 【助成金】

●(福)徳島県共同募金会より  
令和6年度(令和7年度事業)  
共同募金配分金

健祥苑/床走行リフト

事業費総額1,512,560円/助成金:840,000円

●日本財団福祉車両助成事業

小規模多機能ホーム 健祥会ハーグ

車椅子対応車両(日産キャラバン)

事業費総額:3,880,000円/助成金:3,100,000円

### 【ボランティア】

●損保ジャパン及び関連会社の36名の皆様  
車椅子70台の整備・清掃活動

ありがとう  
ごぞいました

## つながり合い支え合い、施設はいつも地域とともに

あたたかな地域づくりをめざして、各施設が様々な地域活動を行っています。  
「地域社会への貢献」は健祥会グループの三つの行動指針の一つです。



阿波踊り初日12日に常務理事中村晃子を連長に、様々な職場・職種の職員たちからなる「健祥会グループ連」と、グループの4認定こども園園児たちによる「健祥会ちるど連」、総勢150名が賑わい沸き立つ街へ繰り出し、水玉連の皆様をサポートいただきながら、藍場浜演舞場・両国本町演舞場を笑顔で踊り抜きました。



2025.8.12(火)

### 「雨もあがり笑顔で踊った！」 「健祥会グループ連」「健祥会ちるど連」

青森と秋田を除く45都道府県から6964人、香港や米国から181人の参加者を迎え、とくしまマラソン2025が開催されました。県庁前をスタートし、吉野川の北岸を西条大橋で折り返し、南岸を通って徳島市陸上競技場をめざす42.195kmのコース。今年も健祥会グループでは、管理職から新入職員まで、有志がボランティアとして出動。六条大橋北詰の第



4給水所(17km付近)で、塩タブレット、水、スポーツドリンク、バナナのサービスを担当しました。好天で気温も上がるなか、しっかりと水分補給してもらおうと大きくアピールしつつ、笑顔で力走に声援を送りました。



2025.3.23(日)

### とくしまマラソン2025 力走を一杯サポート

## 健祥会グループ合同敬老会週間 全40カ所でご長寿を寿いで

長年社会を支えてきてくださった皆様方への感謝をこめて、利用者様、地域の老人会の皆様が揃って長寿をお祝いする健祥会グループ伝統の「合同敬老会」が、9月8日を皮切りに、徳島、香川、高知、大阪、京都、東京、全40カ所で半月にわたって開催されました。平成元年には32名だった徳島県内の百寿者は現在760名。グループ利用者最高齢は

美馬市の施設に入所されている107歳の女性です。いまやまさに人生110年時代。健祥会グループが45年にわたって築き上げてきたノウハウにICTやデジタル技術を活用しながら、手と手のぬくもり、こころの通い合いを大切に、皆様に「健康と自立」をお届けしてまいろうと、想いを新たにしている敬老の日でした。



## スポーツで生きがいを!! 健康と自立を!!

第44回 健祥会カップ争奪徳島オープンゲートボール選手権大会は残念ながら荒天のため中止となりましたが、以下の大会は多くの皆様のご参加で元気に和やかに開催されました。

### 【ゲートボール】

- 第33回 健祥会カップ争奪東四国国体記念  
四国オープンゲートボール選手権大会  
2025年9月27日(土) 高松市・ホテルと文化の里運動場  
「高齢青年チーム賞」徳島県阿南市・憧れチーム(平均年齢86.0歳)  
優勝: 健祥会Aチーム

### 【グラウンド・ゴルフ】

- 第21回 健祥会杯グラウンド・ゴルフ大会  
2025年5月10日(土) 徳島市民吉野川南岸運動広場
- 第21回 健祥会ふれあい大会  
2025年6月7日(土) 小松島市・坂野運動広場
- 第20回 健祥会グループ杯南太平洋グラウンド・ゴルフ大会  
2025年11月11日(火) 阿南市・橘湾中浦緑地運動公園



2025.9.8(月)~21(日)

## 学生たちのつくる介護の日 「絵画コンテスト」&「やらんでかるた」交流会

高齢化が急速に進み、「介護」がすべての人にとつて身近なテーマとなった今、子どもたちにも「介護」について考えてもらう機会をつくらうと、専門学校健祥会学園が県内の児童生徒に向けて「未来の介護施設」をテーマとした絵画作品を募集しました。学園内部での1次審査、外部からの審査員を招いての2次審査を経て入賞作を決定。小学校低

学年、高学年、中学校、高校の4部門各6作品、合計24作品の表彰式と展示が、11月11日の介護の日(ちなみに介護フェアの一環として石井町の商業施設で行われました。また、フェアでは、介護福祉学科の学生が、介護実習を通して見つけた介護の楽しさ・やりがい・喜びを川柳に詠み、絵で表現した「やらんでかるた」を披露。地域の



方々に楽しみながら介護の仕事について知っていただくところたるたコーナーを設け、子どもたちにも遊んでもらいました。

2025.11.11(火)

## 「徳島SDGsパートナー制度」に 5法人揃って登録

積極的にSDGsに取り組む事業者を「見える化する」「徳島SDGsパートナー制度」において、健祥会グループ5法人が、「徳島SDGsパートナー」に登録されました。この制度は、事業者が自らの活動とSDGsの関係性を常にチェックしながら取り組みのあり様を更新していくこと(組織全体でのSDGsのより深い理解につなげていくこと)を目的とし、「見え

る化」により事業者の取り組みを応援するものです。グループでも独自に設定した17の目標に向けて地道に取り組んでいますが、この登録を機にさらに取り組みを深化させ、地域の課題解決や経済の活性化に資するよう、努めてまいります。



2025.12.3(水)

# KIRARI WOMANネットワーク 2025活動レポート

健祥会グループを縦横につなぐ職員のネットワーク「KIRARI WOMAN ネットワーク」が10周年を迎え、今年度も多彩な活動を繰り広げました。

## さあ、アートでつながろう！

### 「ユニバーサルアート by KENSHOKAI」

グループ内の高齢者施設・障がい者施設の利用者様、認定こども園の園児が一緒になってアート作品を作り上げるという「ユニバーサルアート by KENSHOKAI」を企画。徳島県立近代美術館学芸員お二人のご協力により、2024年10月31日から2025年1月23日までの全4回の出前授業を経て、自由な発想の楽しい作品がたくさん生まれました。

さらに、型にハマらずに好きなように表現を楽しんだ作品たちを、「ご家族はじめ地域の皆様にも見ていただきたい」「自分の作品が美術館に飾られる感動をあげたい」と、徳島県立近代美術館ギャラリーで「ユニバーサルアート by KENSHOKAI」作品展（2月14日～16日）を開催しました。ギャラリーには、ポスターカラーを使った切り貼り貼ったりした自由奔放な作品がずらり。制作風景の写真や動画も会場を彩りました。3日間で471人の方がご来場くださり、「とてもよかったです」という感想をたくさんいただきました。

この経験を生かし、こども園でも高齢者施設でもアート活動がどんどん膨らんでいきますように。



2024.10.31(木)～2025.2.16(日)



## 施設から、空飛ぶ夢洲へ バーチャル万博へ出かけよう！

連日賑わいを見せる大阪・関西万博を、現地参加が難しい利用者様たちにも楽しんでいただくとうとバーチャル万博への参加を呼びかけました。

バーチャル万博とは、世界初の試みとして大阪・関西万博が提供した3Dグラフィックスの仮想空間。各国パビリオンや企業展示が再現されるほか、パレードなどの特別イベントが開催され、演出や特別ゲストも登場。リアルと同期した体験が演出されます。

KIRARI WOMAN ネットワークが担当者向け説明会を開催。施設に居ながらアバターで入場し、展示を楽しんだり、イベントに参加したり。万博開催期間中を通して施設でバーチャル参加が実現し、利用者様や、認定こども園の園児たちを夢洲へと誘いました。



2025.7.1(火)～10.13(月)

## 結成10周年記念企画 「KIRARIマーケット in 健祥会学園祭」

「捨てるのはもったいない」を「誰かのうれしい」にしたいと、家庭に眠っている衣類や日用品を集め、学園祭で必要とする方々にお譲りするフリーマーケットを開催。グループ役員に呼びかけて集まった品々、施



設利用者様や職員、園児の保護者、そしてKIRARIメンバーの作ったハンドメイド雑貨がたくさん学生会館に並びました。マーケットは終日大賑わいで、笑顔やおしゃべりが行き交いながら、たくさんの品物が次の持ち主の元へとつながっていききました。この日、皆さんからいただいたご寄付は、「子ども未来応援」「災害・被災地支援」「動物愛護支援」のために役立てていただくとうと、11月14日、常務理事中村晃子が徳島県にお届けし、後藤田正純徳島県知事よりの感謝状をいただきました。皆様のご協力に感謝します。

## 物価高の続く今年 想いをつなぐフードドライブ

年末の恒例行事となったフードドライブ。家庭や職場で余った食品をフードバンクへ届ける活動を今年も実施しました。関西地区3施設を含む34施設、さらに役員の協力も得て、11月19日〜12月17日までの間に本部に持ち寄られた食品は、お米57kgと麺類、缶詰、乾物、インスタント食品、レトルト食品、調味料、飲料、お菓子など1224点。フードロスをなくすための余剰品から、心尽くしの寄

贈品まで、寄せられたたくさんのお食品を、常務理事中村晃子がフードバンクとくしま清田麻利子理事長へ目録とともにお渡ししました。



2025.12.24(水)



2025.10.18(土)





理学療法学科  
作業療法学科  
介護福祉学科  
保育学科  
NEW 日本語学科



# 学びの質も 学費の安さも 全国トップクラス!

授業料の負担少なく

- 中国・四国で最安 **理学療法学科** **作業療法学科**
- 社会人向け学費無料の制度あり
- 介護福祉学科** **保育学科**

※学園調べ

質の高い教育

- 2026年度に創立30周年。豊かな伝統と実績があります。
- 大学並みの整った設備が自慢です。
- 経験豊富な手厚い教師陣、ドクター2名も常勤、万全の国家試験対策。
- 文部科学省「高等教育の修学支援新制度」対象校です。
- 4学科とも文部科学省「職業実践専門課程」の認定を受けています。
- グループの医療、介護施設、認定こども園が実践的な学びの場となります。

## 2027年度 入学生募集!

社会人OK! 年齢問わず!

学び直しであらたな道を拓く先輩も大勢います!



社会福祉法人健祥会 専門学校  
**健祥会学園**

お申し込み・お問い合わせ

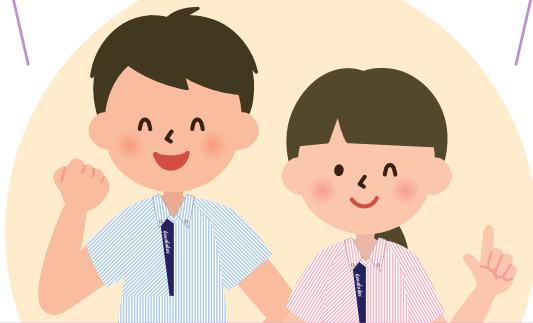
TEL.088-642-9810(入試事務局)

〒779-3105 徳島市国府町東高輪369番地1



あなたを待ってる人がいる  
あなたが輝く場所がある

# 職員 募集中



笑顔と「ありがとう」の行き交う職場で  
私たちといっしょに働きませんか?

誰かのためになる喜びとやりがいに満ちた福祉の仕事にチャレンジしてみませんか?  
資格がなくても大丈夫。研修制度でキャリアアップを応援します!  
福利厚生も充実。仕事と子育ての両立を力強く支援しています。

介護しながら、子育てしながら、勤められます!

**正規職員・パート** 勤務地・勤務時間・給与 応!

募集職種

ケアワーカー(介護職員)・相談員・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師  
ケアマネジャー(介護支援専門員)・管理栄養士・栄養士・調理員・訪問介護員  
ケアサポーター(介護助手)・保育教諭 ほか

ご興味のある方は下記、または各施設までお気軽にお問合せください。

健祥会グループ 人事部

TEL.088-642-7522



健祥会グループ本部

〒779-3105 徳島市国府町東高輪字天満356番地1  
TEL.088-642-8118 FAX.088-642-8668

